

# 学年部会資料 進路指導

H23.12.9発行  
足利市立西中学校

## 「大きくなったら何になるのか」

・・・もうずいぶん大きくなってきました。

### 進路指導とは？

中学校での進路指導は、「生き方」の勉強と考えられると思います。最終的には自分の力で「生きて」いくことができるように、学校でいろいろな力をつけること  
・・・学力、仲間とのつきあい方、言葉遣い、職業についての知識、社会の仕組み etc  
そのなかで教科の勉強に入らない部分を便宜上進路の学習といっていると考えてください。

## 「進路<sup>イコール</sup>＝高校選び」ではありません。

学校で勉強することや、学校で集団生活をすることは、将来社会の一員として活躍するためのステップの一つです。まだ、中学生ですから実感がわかないと思いますが、将来必ず社会人となり、家庭を持ち、自立した生活を送っていくようになるのです。

進路は“生き方”を考える勉強です。

### 学校では・・・

- 1年生で 「職業人に学ぶ」  
「進路計画の立て方」 (どちらも3学期に学習)
- 2年生では 「マイチャレンジ」 実施3日間  
※総合や学活で 地域の人に学ぶ (職業人としての心構え講話)  
進路適性検査、 高校調べ (通える範囲にどんな学校があるか)
- 3年生では 高校説明会、 高校一日体験学習 (希望制)  
などで (学習内容は年によって若干変わります。) 徐々に進路選択を進めていきます。

## 1・2年生のうちになんかことをすればいいのでしょうか？

中学生のだれもがいずれ社会人として自立した生活を送っていくことになります。その自立のための手段はどうするのか、どんな大人になりたいのか見通しを持っておきたいものです。

「自分の子どもの性格や、得意なこと、興味の方向を見極め、社会人になるまでに伸ばしていく資質は何か。」を多方向から家族の話題として話し合うことが大切です。

そして、3年生になってから初めて進路や進学先について話し合うのではなく、「あなたの一生について家族みんなで考え、協力していくよ。」という姿勢を折にふれ示しておくことが大切です。

**夢や希望を  
大切にすること  
適性を知ること  
自分に  
自信を持つこと。**